

プレスリリース [ 令和6年1月13日 ]

(計1枚)

## 能登半島地震における道路崩落箇所データを 3Dマップとドローン測量で検出 ～災害発生時の対応迅速化と安全性確保を実現～

令和6年能登半島地震により加賀市では一部市道の崩落が発生しました。

災害発生時には、迅速なインフラ復旧とその作業時の二次被害の防止が必要とされます。

加賀市においては、令和元年度～令和3年度にかけて市内生活圏域の高精度3Dマップを構築しております。今回の道路崩落を受け、発災後の崩落箇所の3Dデータを、ドローンを用いて測量し、既に整備済の3Dマップと比較することで、流出した土量をデジタル上で検出します。

これにより、これまで人の手で行っていた流出土量測量の効率化と安全性の確保が実現され、より迅速かつ安全に復旧作業を行うことができるようになります。

つきましては、以下日程におきまして、道路崩落箇所のドローンによる3D測量を行いますので、取材の方よろしくお願いたします。

■日時：令和6年1月14日（日）10：30～12：30

■場所：加賀市豊町市道（市道A第422号線）※詳細な位置図は下記



※ご取材いただける場合は下記までご連絡ください。

本件へのお問合せ先  
加賀市イノベーション推進部 担当：中村  
TEL 080-2968-6467（※1/13～1/14 限定）